

序

医学部を卒業し、医師国家試験に合格すれば、いよいよ臨床研修医としてのスタートです。期待と不安交々かもしれません。そんなとき、役に立つ書籍として、本書を企画することにしました。

本編では、医師として日常実施しなければならない「患者対応」、「輸血・栄養・投薬」、「コミュニケーション」、「感染対策」、「臨床倫理」のうち、特に重要な項目に焦点を当ててわかりやすく記載しました。

これらはいずれも医学部の臨床実習で学んだ事柄でしょう。しかし、いざ自身が責任をもって行うとなると、学生時代とは立場が異なり、一層の注意が必要になります。

もちろん指導医に逐一相談することはできます。ですが、すべてを教わるのではなく、自ら学習し、疑問があれば指導医に相談する方がより能率的かつ効果的です。

本書は2005年から2012年にわたって「レジデントノート」誌に連載された記事の一部を抜粋し、単行本用に加筆修正したものです。もちろん医学・医療の進歩にあわせ、最新の情報を盛り込んでいます。

ぜひ臨床研修医の皆さんには本書をご活用いただき、臨床研修に励み、臨床能力に長けた医師として医療に貢献して下さい。また医学生、指導医の皆さんにも、ご利用いただければと思います。

本書の企画、編集にご協力いただいた各執筆者、羊土者編集部に深謝します。

2014年 桜咲く頃

奈良信雄